アイフェル
ATサブコントロールユニット
取扱説明書

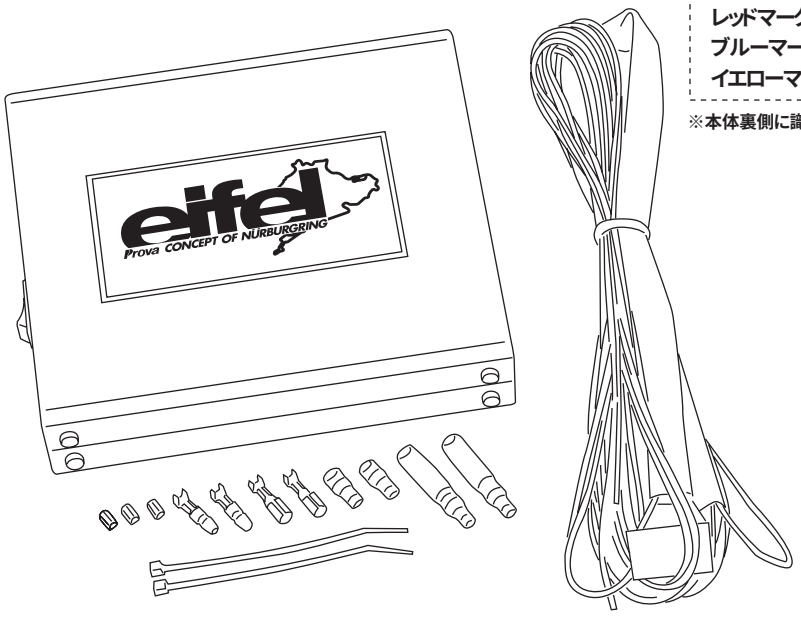
ご使用になる前に必ずお読みください

《適応車種／商品番号》

21120CL0010　BE/BH（2.0 ターボ）　21120CL0020　BE/BH（3.0 NA）
21120CL0030　BE/BH（2.5 NA）　21220CL0010　GDA/GGA（ターボ）

この度は弊社アイフェルATサブコントロールユニットをご購入頂き誠に有難うございます。
本製品の性能を最大限に発揮し、安全かつ長くご使用頂ける様、ご使用の前に必ず本取扱説明書を良くお読みください。また、安全に取付けるとともに、正しくご使用くださいます様、お願い致します。

⚠ 危 険	●本取扱説明書は有資格作業者向けに作成されておりますので、本製品の取り付けは全国のスバルディーラー、または知識と経験のあるショップや自動車用品店で行ってください。 ●誤った取り付は本来の性能を発揮できないだけではなく、重大な事故に繋がる可能性がありますので取付要項の手順で確実に行ってください。 ●適応車種以外への取り付けや、改造加工は危険ですので絶対に行わないでください。 ●エンジン暖気後の作業は、エンジンルーム内パーツが高温になっていますので火傷などに注意してください。
⚠ 注 意	●誤った取り付け及び誤った使用方法による物損は保証の対象外になります。 ●この製品は厳密な品質管理の後出荷していますが、運送上のトラブル等による不具合がないか装着前に必ずご確認ください。万一異常が見つかった場合は購入店、または弊社営業部宛に直接ご連絡ください。正常な製品と交換致します。



レッドマーク　2.0ターボ
ブルーマーク　2.0NA
イエローマーク　2.5NA

※本体裏側に識別マークがあります。

《内容品》

本体	×1
ハーネス	×1
スプライス	×3
オスギボシ	×2
メスギボシ	×2
スリーブ	×2 セット

製品概要

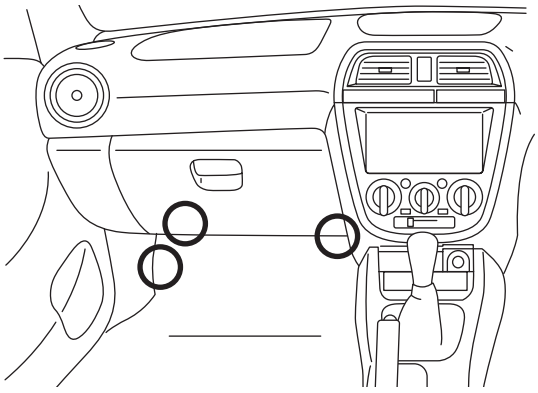
●ATミッションはエンジンの運転情報をエンジンECUから伝達され、AT制御ECUで変速のコントロールを行っています。
●ATサブコントロールユニットは、エンジンECUからAT用ECUに送られる信号をチューニングすることで、ドライバーの意志により忠実にATが応答し、ストレスが少ない軽快な走りを実現します。市街地での発進や加速時にドライバーの意志にAT制御が即応し、レスポンスよく加速し、一段とスポーティで気持ちよい走りを楽しむことができます。
●アクセル全開時、エンジン回転数が4800rpm以上の場合はAT保護のためノーマル制御に戻るようになっています。
●エンジンECUはノーマルでも当社のSSECUでも問題なく対応します。
●本体ユニットにON/OFFスイッチが装着されており、任意にOFF（ノーマル制御）に切り替えることができます。エンジンごとに専用チューニングされています。
●取り付けはエンジンECUとAT・ECUを結ぶ配線に結合。（エンジン回転数信号線とスロットル開度信号線に本ユニットの配線を結合します）発進時や低中速域の加速レスポンスを向上させるシステムです。

取付手順

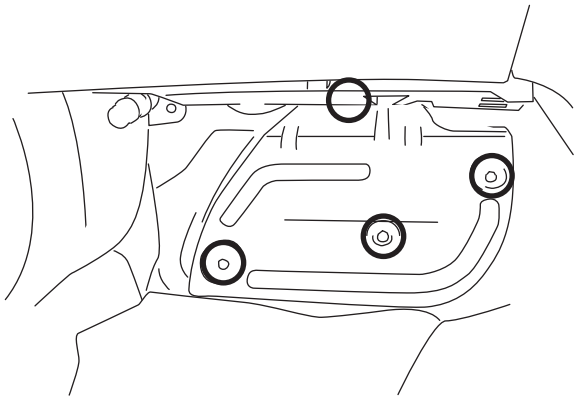
本取扱説明書は有資格作業者向けに作成されておりますので、本製品の取り付けは全国のスバルディーラー、または知識と経験のあるショップや自動車用品店で行ってください。

1 バッテリーのマイナス端子を取外し、短絡しないようにビニールテープなどで端子を保護します。

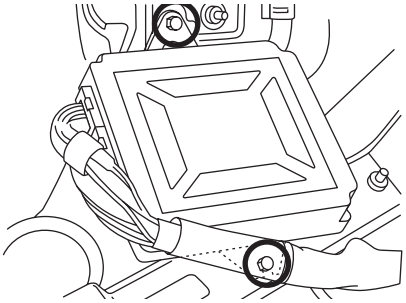
2 カーペットはプラスティッククリップにて留められており、ドア側前方に2箇所（発煙筒の位置が目安）、センターコンソール側に1箇所（コンソールカバー下側）の計3箇所を外しカーペットをめくります。



3 保護板を外します。保護板下側に配線止め2箇所を外し、保護板固定用ボルトナット（3箇所ボルト、1箇所ナット）計4箇所を緩め保護板を取外します。



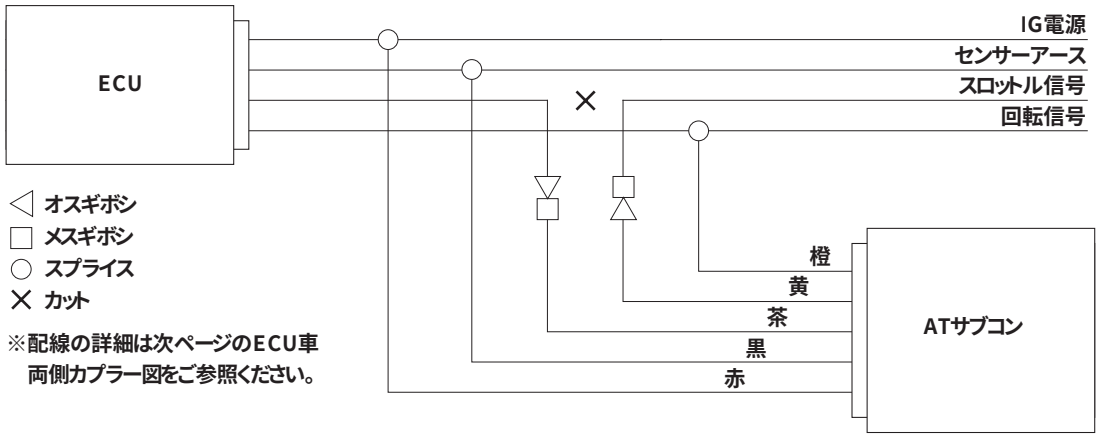
4 ECU本体固定用ナット（2箇所）、配線カプラーを外しECU本体を取出します。なお、配線カプラーは大変壊れやすい部分なので。脱着時には強い力をかけないでください。



5

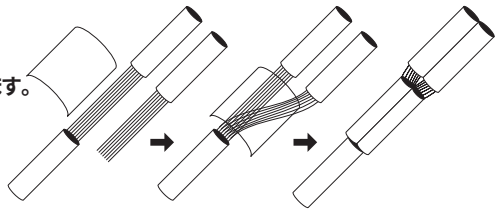
《1》車両ECUの電源線にATサブコンの赤線をスプライスにより接続してください。
《2》車両ECUのアース線にATサブコンの黒線をスプライスにより接続してください。
《3》車両ECUの回転信号線にATサブコンの橙線をスプライスにより接続してください。
《4》車両ECUのスロットルセンサー配線をカットして車両側へATサブコンの黄色線、ECU側へATサブコンの茶色線をオス・メスギボシにより接続してください。

《配線図》



スプライスによる配線方法

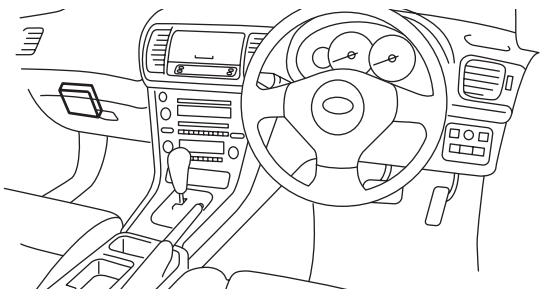
接合する配線の被服を約5mm剥ぎます。
剥いだ配線同士を巻き付け、スプライスを圧着プライヤにてかしめます。
接合部より配線が抜けないことを確認します。
ハーネステープなど絶縁テープにて接合部前後10mm以上を覆うよう絶縁処理をします。



6 配線が終了したら運転の妨げにならないよう配線をタイラップバンドにて固定させてください

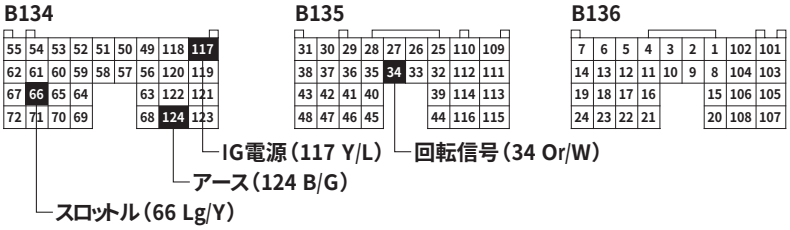
7 ATサブコン本体は、運転の邪魔にならない場所にしっかりと固定してください。

例）グローブボックス内等



車両側ECUカプラー図

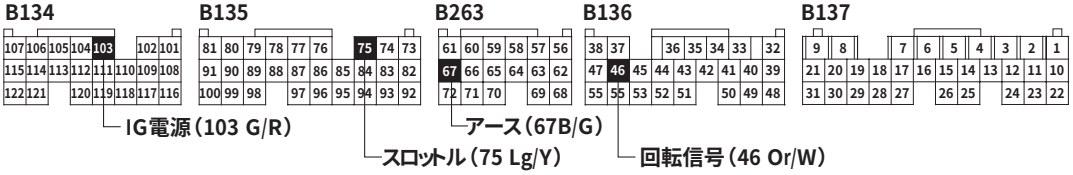
《BE5/BH5 A-C type 2.0ターボ、BE9/BH9 A-C type 2.5NA》



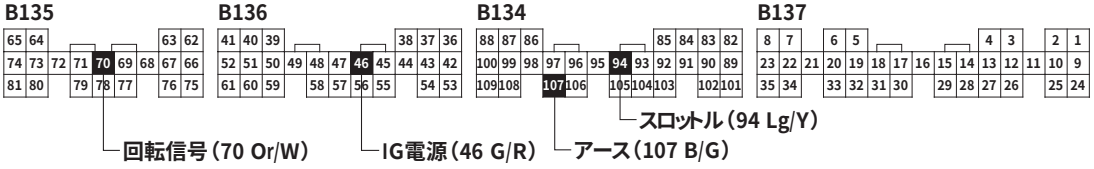
配線色

Lg	ライトグリーン
Y	黄
G	緑
R	赤
W	白
B	黒

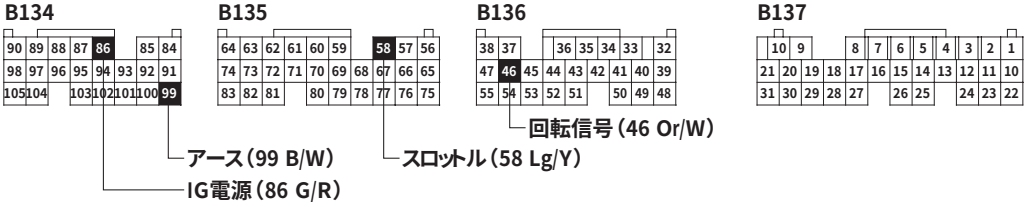
《BE5/BH5 D type 2.0ターボ》



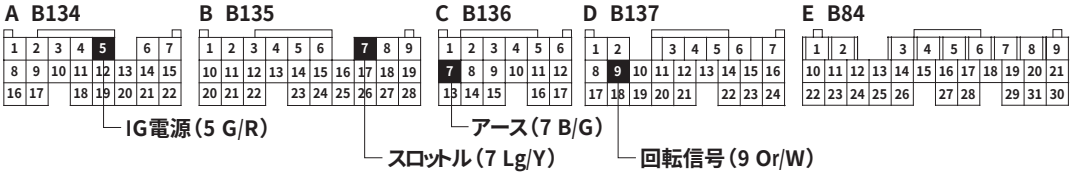
《BE9/BH9 D type 2.5NA》



《BE9/BH9 D type 3.0NA》



《GDA /GGA C-D type》



※図はカプラー接合面より車両ハーネス側を見たものです。

作動確認

《1》イグニッションをオフにしてください。
《2》ATサブコンのスイッチをオンにしてからエンジンを始動させ以下の項目を確認してください。

●アイドリングは安定しているか

※純正ECUの学習機能の関係でエンジン始動後5～10分はアイドリングが不安定になることがありますが異常ではありません。

●エンジンチェックが点灯していないか。
●加速不良、異常がみられないか。

上記項目に異常がある場合は配線の位置、接触を再確認してください。